

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成21年6月1日	
		指定年月日	平成21年6月1日	
法人名	大信産業株式会社			
事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん			
所在地	( 235-0011 ) 神奈川県横浜市磯子区丸山1丁目16-5			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成24年8月22日	評価結果 市町村受理日	ユニット数	2ユニット
			平成25年1月7日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医食同源の考え方から、きちんとした食事をとる事で心も体も健康を維持し、その人らしく生活していられるようお手伝いいたします。開設より4年目になり、入居者様のご様子も変わりつつあります。食事に関しては、その時のその人に合った食事形態、食事を工夫しながら実践し、日常生活の中で少しでも今出来る事、楽しめている事を継続していられるようと考えております。終末期においては個々にその方の状況に合わせてご家族様と話し合いを持ち、その時のご本人様・ご家族様のお気持ちに沿ってお手伝いしていられるよう医療職と連携を取り、安心して暮らしていられる環境作りに努めております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年9月12日	評価機関 評価決定日	平成24年12月17日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**【事業所の概要】**  
この事業所は、JR根岸駅からバスで10分、丸山町公園で下車し、徒歩5分の住宅街に位置している。開設は平成21年6月で、軽量鉄骨3階建てである。建物の1階にある同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所と併設されている。

**【理念に基づく支援の実践】**  
「おいしく食べて心も体も健康に、認め合って、支え合ってその人らしさを大切にします」の理念に基づき医食同源の考え方を実践している。無農薬、有機野菜、無添加の新鮮な食材を使い、人にやさしい食事作りを心がけている。日頃より利用者の好みに合わせ、栄養バランスのとれた美味しい食事作りに努め、その人にあった食事形態、食事を工夫している。各フロアごとにメニューを決め、買い物や調理を楽しむこともある。

職員は身体拘束をしないケアの大切さを、社内研修を通して繰り返し確認している。利用者のできることは任せて、職員は見守りを重視している。

結果として、利用者と職員は和気あいあいとした関係になっており、明るく元気に過ごしている。

**【法人としての事業集積の活用】**  
法人として、訪問介護事業所なども運営しており、人材育成の面から職員は各事業所の業務を経験している。1階の小規模多機能型居宅介護事業所とは共同の行事などで連携し、効率的な運営を図っている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念に掲げている「食」と「その人らしく」を大切に、住み慣れた地域の中で楽しみを持って暮らしていられるよう柔軟な対応が出来るように心がけています。グループホームでの交流を大切にしながらも、個々の今までの関係性も継続していられるよう支援しています。</p>	<p>理念は開設当初に、法人代表の考えを基に、管理者、フロアリーダーにより作成された。各フロアの事務所に掲示し、日々の引き継ぎ時に職員間で確認している。楽しく食べることを最優先にし、献立や新鮮な食材、きざみ食でも形や味にこだわっている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に入れて頂き、行事等に参加させて頂いております。敬老会、餅つき、夏祭り等は毎年皆さんがとても楽しみにされています。町内会の行事では顔なじみのご近所の方々にお声をかけて頂き「あら お久しぶり お元気でした？」と 談笑される場面もよくあります。近隣の商店での買い物や、散歩を通して日常で交流が図れるように心がけています。近隣に在住のスタッフも多く、地域の情報や話題を多く、入居者様と共有出来ていると思います。ご近所のお宅から 釣ってきたお魚のおすそわけを頂く事があります。</p>	<p>丸山第一町内会に加入している。散歩時やスーパーマーケットでの買い物時に、近所の方と挨拶を交わしている。地域のお祭りや盆踊り、成人式の餅つき大会や避難訓練などに参加している。近隣の美容学校から敬老の日の招待を受け、学生にシャンプーをしてもらったり、おすそわけで近所の方から、釣った魚をいただくこともある。近隣からの入居が多く、利用者の共通の知人が訪ねてくることもある。子供会の古紙の回収に協力するなど、地域の方とのふれあいを大切にしながら暮している。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>日常生活の中での近隣との交流や、見学にいられた皆さまにお伝えすることで認知症があっても穏やかにその人らしく暮らしていられる事が理解されてきていると思います。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催する事で コミュニケーションも取れ、お話ししやすい雰囲気になってきています。4か月ごとの開催なのでその間の活動やグループホームの状況を報告しています。報告した活動状況にご家族様目線での、評価、アドバイスを聞く事ができ、サービスの向上に活かす事が出来ていると思います。会議で要望された事は速やかに対応するように努めております。</p>	<p>運営推進会議は、1階の同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で、4ヶ月に1回実施している。参加者は利用者・家族・町内会副会長・民生委員・社会福祉協議会の職員・地域包括支援センター職員・管理者・フロアリーダー・オーナーである。会議内容は運営活動報告、行事報告、意見・要望などの確認である。</p>	<p>運営推進会議は2～3ヶ月に一度の開催が望まれます。現状は年3回で、うち1回は防災訓練のため実質年2回の実施となっています。事業所の運営状況報告など、積極的に情報を収集したり、発信したり、大切なことを話し合う機会を増やすことが期待されます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導を頂きながら運営しています。ご指導いただいた事には迅速に対応するよう努めております。運営推進会議にはオブザーバーとして地域包括センターの職員にご出席いただいております。	窓口は磯子区介護保険課で、介護保険の要介護認定更新のお手伝いもしている。行政の研修には参加している。事業所連絡会は、国・県・市・区のそれぞれの事業所連絡会に所属し、磯子区のブロック会議に出席している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常生活の中で身体拘束になりうる可能性のある事はその場で確認し合い廃止しています。ADLの低下や認知症の進行があり車椅子の使用、ベッド柵の必要性が増えています。入院中は当たり前であったベルト・ベット柵が拘束である事をご家族様にもご理解いただき、ベルト・柵を使用せず、安心して安全に生活できるようスタッフ間で連携していく様にしています。 言葉による拘束は 本人も気付かないうち発している可能性が大きいので その場 日々の申し送り 申し送りノートを通じて、防いでいくようにしています。 社内研修を通して 繰り返しかえし確認し合える場を設けるようにしています。行事や 緊急対応等で予定通りの実施は 難しいことが多くありますが 継続していかれるよう努力していきます。	平成23年7～9月に、毎週1回の勉強会を、休みの職員も含め全員参加で集中的に実施した。その中で身体拘束や高齢者虐待の勉強もしており、常に業務において拘束をしないケアに取り組んでいる。今年度も期間を定めて実施する予定である。玄関には鍵をかけないで、職員は安全に注意して見守りを重視している。居室の鍵は本人の自由に任せている。1階は小規模多機能型居宅介護の事務所があり、職員が見守りできる状況にある。利用者が外出した場合は、職員が後をついて見守りをしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常の何気ない言葉の中に意識の中にある虐待があるのでは・・・と考え、スタッフ間の虐待に関する知識や認識度に合わせて 研修をし虐待防止にかんする意識を高めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議や、その他学べる機会を設け理解していけるよう努めていきます。		
9		契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には一緒に契約書、重要事項説明書を確認し、不安や疑問点にお答えしています。その場では思いつかない事や、入居してから感じる事もあると思いますので、後からのご質問等いつでもお受けすることをお伝えしております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の 反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	昨年よりご意見BOXを設置しました。皆様から頂いたご意見ご要望を運営に反映できる様に努めてまいります。外部評価のアンケートの改善点は参考にさせて頂き改善に向けて出来る事は努力をしております。 出勤スタッフが分かる様に写真を掲示しました。共用のタオルに関しては グループホームでもずっと試行錯誤しておりましたが（ペーパーで拭く習慣がみなさんにない 個別の物をかけておいても無くなる 全員が常にタオルを携帯するのは困難等・・・）今は落ち着いた状況にあり 洗面台に個別のタオル掛けを作り、使用して頂いています。 今後も話しやすい雰囲気作りに努め皆さまからのご要望をどんどん実現させていきたいと思っております。	ご意見箱を各フロアに設置したが、意見は出ていない。家族の来訪時や事業所の行事の参加時、運営推進会議などを通して家族の意見の収集に努めている。外部評価のアンケート結果についても活用しており、家族の意見を受けて、共有タオルから個別タオルを活用するように変更した。利用者の意見は日常の業務の中で把握するようにしている。自分の意見を伝えるににくい方については、表情、動作から確認している。利用者の近況報告の手紙を家族に出している。その際には個別に利用者の写真も添えている。家族の来訪が無い場合は電話で確認している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りノート、毎日朝夕の申し送りで常時情報交換できるようにし、必要ですぐできる事は即実施。全体できめることであればミーティングの議題として検討しています。 排便管理や、水分量の把握がしやすいよう個別の記録用紙を使ったり、表記の仕方もスタッフみんなが分かりやすい表示へ意見を取り入れ変わって行っています。 各フロアでの過ごし方もスタッフの意見や提案により 入居者様の状況に合わせてテーブルの配置や席を変えたり、時間や実施状況を変えて無理のない一日が過ごせるよう意見を出し合っています。	管理者は個別に、職員と面接を随時実施して、意見の収集を図っている。日常の業務を通して常に管理者は職員の意見・要望を取り入れ、朝夕の引き継ぎ時に確認している。さらに月1回のフロア単位のミーティングで情報の共有化を図っている。職員の意見で昨年計画したが震災で中止になった三浦半島のいちご狩りを、車椅子の方も含めた利用者全員と家族の参加も得て実施した。その際は、下見を含めた安全対策も確認するなど周到な準備行った。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思います。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がけ業務の中で学び成長していかれるよう配慮しています。就業しながらヘルパー2級取得、介護福祉士取得のバックアップ制度あり。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し、勉強会等に参加。横浜市の研修等で同職種の交流や連携を図れるようにしています。 同法人内の小規模多機能・グループホームとの交流、情報交換もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>認知症のご利用者様なのでゆっくりとご本人のペースで安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めております。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居にあたりご家族様がまだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられる事もあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺いその後サービスの開始にあたり必要な事、ご要望等をお伺いしております。一度では伝わりにくい事もあるので、その後も、連絡を取り合い確認する事もあります。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるので混乱されるご入居者様もおられます。まずは安心して居られる場所である事を入居者様・ご家族様にご理解頂けるように努めております。その後個々のご入居者様・ご家族様の状況や、ご要望に合わせたサービスの提案、提供をしております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は一緒にやって頂き役割や決定、選択をする事でその人らしく暮らせるようお手伝いさせて頂いております。</p> <p>スタッフが洗濯物を干したり畳んだりしていると「やるよ」と手伝ってくださったり、入居者様から「なんかやる事あったらやるよ」と声をかけてくださることが多くあります。</p> <p>スタッフの年齢層が広く息子、嫁、娘、孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。歌や、昔の横浜や、磯子の様子をお話ししてくださり教わる事も多くあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらず、いつでも来ていただいで一緒に食事やおやつ、レクリエーション等にもご参加頂けます。</p> <p>ご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただくことで、ご家族と一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えております。</p> <p>グループホームに入居された入居者様がより快適に生活していかれるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者等には継続して行かれるようお手伝いしております。</p> <p>お友達の面会や電話の取り次ぎも常時お受けしています。親しいご友人や知人の方が来設されご本人のお部屋やリビング・食堂でお茶を飲みながら談笑される場面もあります。</p>	<p>近隣から入居した方が多く、友人や知人が来訪し、居室や談話室で話をしている。</p> <p>年賀状のあて名書きのお手伝いや、電話の取り次ぎをしている。行きつけの美容室に行く時には職員が付き添い、帰りに自宅に寄って家族に姿を見せることもある。本牧公園の花見や寿司屋に行くこともある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日常生活や、外出、レクリエーション、話題提供を通して、個人個人のお気持ちを考慮しながらよりよい関係性を築いていかれるようにしています。</p> <p>今ある関係性に執着せず新しい発見を大切にしていきたいと思っております。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話や、お手紙でご本人やご家族様の近況をお知らせくださることもあります。</p> <p>入院したり、他施設に移られた入居者様に面会に行くこともあります。</p> <p>季節のご挨拶等でも関係性を保っていききたいと思っております。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>危険であったり、他入居者様の迷惑や不快にならないことであれば出来るだけご本人の思いに沿ってお手伝いさせて頂いております。</p> <p>認知症があり伝える事が難しい入居者様もおられるので、その時の表情や、行動からもくみ取れるように配慮しています。</p>	<p>職員は日常の業務の中で、利用者の表情や態度から意向や希望を汲み取るように努めている。意向を伝えにくい方には、個別に入浴時などのゆったりした気分の時に聞いている。食事は見慣れないものや嫌いなものは出さないよう、個別に対応している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービスの経過等の把握に努めている</p>	<p>認知症があり 正確にお伺いすることは難しい事もありますが、ご家族様からのお話や、日常のなかでの会話で馴染みのもの、好みのやり方等をうかがい、今までの暮らしに近い生活が継続できる様にお手伝いしています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>食事、水分の摂取量、排泄状況、バイタル測定値、毎日のご様子を記録し、その日状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるように努めています。</p> <p>役割や、レクリエーション、外出等もご本人のご希望、心身の状態に合わせ無理なく楽しみながら出来るよう配慮しています。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>生活全体の介護計画はご家族様、介護スタッフ、訪問介護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し安心して快適に暮らしていかれるような介護計画が作成出来るよう心がけています。</p> <p>ご高齢で、認知症がある為体調・精神状況等日々不安定なご様子もありケアの方向性が変わることも多くあるので緊急時や細かいサービスの内容は毎日の申し送り、申し送りノート、口頭等で常に確認し合い、ご家族様には電話等でご連絡させて頂いております。</p>	<p>日々の介護記録を基に、介護計画を作成している。毎月1回のフロア単位のミーティングで全体の見直しを実施し、日常の朝夕の申し送り時にその都度確認をしている。利用者、家族、医師、看護師の意見もその都度把握して、介護計画に組み入れている。見直しは通常3カ月ごとに行っているが、状況に変化がある場合は、随時対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、変化等を個別の介護記録や業務日誌、申し送りノートに記録して情報を共有し、毎日の申し送り時や、ミーティングで話し合いケアの方向性を決めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共同生活の中でありながらも、個人個人のその時のニーズに出来るだけ速やかに対応できるように努めております。 今年、当事業所では初めての看取り介護をさせて頂きました。 ご家族様の泊まり込んで入居者様と一緒に過ごしたいというご希望があり、お受けいたしました。お別れのときは、息子様ご夫婦 お孫様たちに見守られ、穏やかなご様子でした。 他入居者様もおられるので少々不安もありましたが、どなたも混乱することなくみんなでお見送りをさせて頂きました。今後も皆さまが満足できる柔軟な対応を心がけていきたいと思っております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	住み慣れた地域の中での生活が継続できるよう地域の情報を把握し、ご本人が楽しめるようにしています。定期的な地域の催しは楽しみにされておりますので安全に参加できるようお手伝いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護に間に入っただきながら、ご本人（ご家族様）がご希望されてるかかりつけ医と連携をとっています。</p> <p>定期受診の際、ご家族様から入居者様のご様子が伝えにくい時はご様子や測定した数値を書面にしてお持ちいただいたり、受診に同行して直接Dr.に入居者様の体調・ご様子をお伝えすることもあります。</p> <p>定期受診・緊急時の受診等、ご家族様のご都合がつかないときはグループホームで付き添いをさせていただく事もあります。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医を優先している。協力医療機関（利用者が個々に契約）を受診している方は10名で、それ以外の方は入居前からのかかりつけ医を利用している。家族の都合の悪い場合などは、職員がかかりつけ医に付き添っている。診察券を職員が出すなどの手伝いもしている。</p> <p>訪問看護師は毎週1回来所し、医師との連携を取っている。訪問歯科は毎月2回で、希望者が受診している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調に関して相談させていただいたり、ご家族様からの疑問や不安に思っている事なども相談させて頂き、医療面で個人個人に適切なケアが出来るようになってきています。</p> <p>受診時の医療機関の情報もアドバイスくださりスムーズに受診できるようになりました。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただいたり、ご家族様とは密に連絡を取り、入居者様の状況を把握できるように努めております。必要であればご家族様ご了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人様、ご家族様共に安心して治療できるよう、また退院に向けて適切に対応できるよう準備につとめております。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の契約の際、重度化した場合や終末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてあります。ご本人、ご家族様の望む事、事業所で出来る事をきちんとお互いに理解し合った上で医療機関、訪問看護と連携し支援していきたいと思っております。</p> <p>入居者様のご様子、ご家族様の思いに沿って、少しずつ終末期をどこでどう迎えたいかのご意向を伺い、同意書の作成をしています。</p>	<p>「重度化、終末期のケアの対応、指針」を平成22年10月に策定した。ターミナルケアの勉強会も実施している。看取りを1名実施した。その際は、職員や他の利用者の動揺もなく、医師、看護師、家族との連携も十分にできた。特に家族の協力が大切であることを再確認した。現在他の家族とも順次同意書を取り交わしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	開設より3年が経過し、実践の中でも経験を積む事が出来、混乱することなく対応できる状況になってきました。 今後もミーティングや研修を通して、（特に新人スタッフに重点を置いて）実践力を身につけ、急変や、事故発生時に適切な対応ができる体制作りをしてまいります。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的避難訓練等や日頃から意識していく事を心がけています。 今年も11月の運営推進会議では 近隣の方のご協力をいただき 避難訓練を実施します。 非常用の飲用水・食糧の備蓄あり。	防災・避難訓練は年2回実施し、うち1回は運営推進会議の実施に合わせて行っている。建物内の事業所が合同で消防署の指導のもと、夜間を想定した訓練を実施している。居室の家具も固定し、備蓄も食料など3日分を用意してある。	災害時は地域の協力が必要です。運営推進委員の方だけでなく、近隣や、スーパーマーケットとの連携も視野に入れ、地域の防災拠点としての役割も期待いたします。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。 男性・女性が一緒に生活していらっしゃるのでプライバシーに関しては特に配慮しております。	日々の業務において、特に言葉遣いに注意している。管理者、フロアリーダーは気がついた時に、その都度職員に注意し、フロアミーティングで職員相互で共有している。書類は鍵を掛けて保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症がある為、自分の思いが上手く伝わらなかつたり誤解をされてしまう事も多くあるので、そのような事でお辛い思いをしたり、不信感につながらないように十分配慮しながら、お一人お一人の想いに耳を傾けるよう努めております。可能である方はご自分で、お一人では難しい方はお気持ちを考えながら自分で決定していただけるようお手伝いしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間は概ね決めてありますが、参加や決定はご本人にお任せしています。無理強いをせず、楽しんで参加して頂けるような声かけを心がけております。他入居者やスタッフとの交流を大切にしながらも、ご本人のペースで生活できるよう配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをいただいています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。散髪、髪染め等もご希望があればお手伝いしています。起床時や入浴後髪の流れや、衣類等の食べこぼし(認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理のないよう)、眼やに、耳垢、爪、髭剃り等も毎日の生活の中で配慮しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの物はお出しできませんが、食べたい物や、好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。各フロア毎にメニュー決めて 買物や調理をみんなで楽しむこともあります。ADLの低下があり、刻み食・ミキサー食をお出しするようになりました。見た目や食感に配慮したり、ミキサーに適さない食材は他の食材に変えて、形態が変わっても食事を楽しめるように努めております。	1階の小規模多機能型居宅介護事業所の厨房より、昼食と夕食の主菜の提供を受けている。ご飯やみそ汁、漬物は各フロアで作っている。朝食は各フロアの職員が準備している。食材にはこだわりを持っており、野菜などは伊勢原の農家から調達している。食事作りや後片付けができる利用者は職員と一緒にいる。外食はお寿司が主で、正月のおせちやクリスマスのチキン、敬老の日の赤飯などの行事食も楽しんでいる。トロミや刻み食などの個別の対応もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人個人のお食事量やお食事をされている様子を把握し、記録をもとに少ない時には食事時以外にも補食として好きな物をお出ししています。</p> <p>食事量・水分摂取量の少ない入居者様や体調不良時には 通常の記録の他に細かく量を記録するようにし、一日の摂取量を確保できるようにしています。</p> <p>必要と判断した時には医療と連携し、適切な対応が出来るようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後 お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。</p> <p>ご希望があれば、必要に応じて、訪問歯科受診のお手伝いもしております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様お一人お一人に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしております。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。</p> <p>男性に関してはどうしても立ってトイレを使用する事で毎回汚してしまう事がありますが、使用後は速やかに清掃し他入居者が困らないようにする事で対応しております。</p>	<p>排泄チェック表で、個別に排泄パターンを把握して、トイレ誘導の声かけを実施している。自立の方は2名で、その他の方はリハビリパンツとパットの使用である。声かけには十分注意し、さりげなく誘導している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後等は ゆっくりトイレに入れるような環境作りに配慮しています。ご自分でいかれない方には声かけし、排便の機会を作る様にしています。 午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようになっています。便秘になりやすい入居者様には、毎日プルーンを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は医療機関に相談し、整腸剤や緩下剤を処方してもらう事もあります。排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人のお好みの湯加減に調節し、お一人づつ入浴して頂いております。ご希望があった時は入浴日以外でも入浴して頂いております。入居者様によっては 入浴に拒否がある方もおられますが、入ってしまうと皆さん「気持ちいい」「ありがとう」とのお言葉を頂いております。拒否された時は無理強いせず、時間をおいて再度お誘いしたり、声をかけるスタッフをかえたりしています。	入浴は毎週2～3回であるが、毎日入浴する方もいる。入浴したがない方には声かけをし、さらに時間をおき、人を変えるなど工夫している。入浴剤やゆず湯などの楽しみもある。1階の小規模多機能型居宅介護事業所の炭酸泉水を利用して、足浴や入浴を楽しむこともできる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので、休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休めない様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>常に確認できるよう、最新の薬情を薬箱の近くに設置しています。服薬時はスタッフ2人以上での確認を徹底しています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節に合わせた行事や入居者様それぞれに伺いながら楽しめること、気分転換出来る事を計画しています。</p> <p>入浴後や夕食時にお好きなビール（入居時はビールでしたが、体重の増加により現在はノンアルコールビールにいただいています）を楽しまれたり、毎朝新聞を取りに行くのを楽しみにされている入居者様もいらっしゃいます。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望されていても、普段は行かないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為に職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。</p>	<p>天気の良い日は近くの公園やスーパーマーケットへ散歩に行っている。車椅子の方も参加している。遠出としては、イチゴ狩りや紅葉見学に出かけている。寿司屋での外食もしている。買い物はスーパーマーケットや商店街に行っており、また行きつけの美容院に職員が個別に対応して出かけるなど、外出の機会を持つようにしている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理できる方はおられないので、お小遣いは金庫預かりとさせていただき、スタッフが管理しています。</p> <p>事業所の向かいにスーパーマーケットがあり、少量づつその時に欲しいものを買に行ったり、広告を見て特売の商品をみんなで買に行ったりと気軽に買い物を楽しめる環境にあります。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。年賀状・暑中見舞いはフロアーでのレクリエーションで作成し、ご家族様に送らせていただいています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や季節の飾り、花を飾る等、入居者様と一緒に楽しみながらやっております。食堂・リビングのレイアウトもその時の状況に合わせて位置を変えて楽しんでいます。	食堂と談話室が別になっており、利用者は自由に、のんびりと自分の時間を過ごしている。各フロアには空気清浄器が設置されている。廊下には行事の写真や職員と協力して作った作品が飾られている。共用空間は明るく清潔に保たれている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったのですが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや使い慣れた寝具、家具をお持ちいただきご自由にレイアウトして頂いております。テレビ、ラジオ、大切なお仏壇を置かれていらっしゃる方もおられます。 カーテンは当初は今までお使いの物をお持ちいただきおりましたが、消防署のご指導により防災の物に変えていただいております。	居室は、空調器、照明、クローゼット、カーテンレールが備え付けられ、利用者はベットやタンス、位牌や家族の写真など持ち込んでいる。歌手のポスターなども貼られ、ドアには手すりが付いている。季節の衣類の入れ替えは、家族や職員が実施している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で歩いて移動していただけるよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。		

事業所名	
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念に掲げている「食」と「その人らしく」を大切し、住み慣れた地域の中で楽しみを持って暮らしていかれるよう柔軟な対応が出来るように心がけています。グループホームでの交流を大切にしながらも 個々の今までの関係性も継続していかれるよう支援しています。</p>			
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会入れて頂き 行事等に参加させて頂いております。敬老会、餅つき、夏祭り等は毎年皆さんがとても楽しみにされています。町内会の行事では顔なじみのご近所の方々にお声をかけて頂き「あら お久しぶり お元気でした？」と 談笑される場面もよくあります。近隣の商店での買い物や、散歩を通して日常で交流が図れるように心がけています。近隣に在住のスタッフも多く、地域の情報や話題を多く、入居者様と共有出来ていると思います。ご近所のお宅から 釣ってきたお魚のおすそわけを頂く事があります。</p>			
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>日常生活の中での近隣との交流や、見学に来られた皆さまにお伝えすることで 認知症があっても穏やかに その人らしく暮らしていかれる事が理解されてきていると思います。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的を開催する事で コミュニケーションも取れ、お話ししやすい雰囲気になってきています。4か月ごとの開催なのでその間の活動やグループホームの状況を報告しています。報告した活動状況にご家族様目線での、評価、アドバイスを聞く事ができ、サービスの向上に活かす事が出来ていると思います。会議で要望された事は速やかに対応するように努めております。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導を頂きながら運営しています。ご指導いただいた事には迅速に対応するよう努めております。運営推進会議にはオブザーバーとして地域包括センターの職員にご出席いただいております。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常生活の中で身体拘束になりうる可能性のある事はその場で確認し合い廃止しています。ADLの低下や認知症の進行があり車椅子の使用、ベッド柵の必要性が増えてきています。入院中は当たり前であったベルト・ベット柵が拘束である事をご家族様にもご理解いただき、ベルト・柵を使用せず、安心して安全に生活できるようにスタッフ間で連携していく様にしています。 言葉による拘束は 本人も気付かないうち発している可能性が大きいので その場 日々の申し送り 申し送りノートを通じて、防いでいくようにしています。 社内研修を通して 繰り返し確認し合える場を設けるようにしています。行事や 緊急対応等で予定通りの実施は 難しいことが多くありますが 継続していかれるよう努力していきます。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常の何気ない言葉の中に意識の中にあるのでは・・・と考え、スタッフ間の虐待に関する知識や認識度に合わせて 研修をし 虐待防止にかんする意識を高めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議や、その他学べる機会を設け 理解していかれるよう努めていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には一緒に契約書、重要事項説明書を確認し、不安や疑問点にお答えしています。その場では思いつかない事や、入居してから感じる事もあると思いますので、後からのご質問等もいつでもお受けすることをお伝えしております。</p>			
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>昨年よりご意見BOXを設置しました。皆様から頂いたのご意見ご要望を運営に反映できるように努めてまいります。外部評価のアンケートの改善点は参考にさせて頂き改善に向けて出来る事は努力をしております。</p> <p>出勤スタッフが分かる様に写真を掲示しました。共用のタオルに関しては グループホームでもずっと試行錯誤していましたが（ペーパーで拭く習慣がみなさんになく 個別の物をかけておいても無くなる 全員が常にタオルを携帯するのは困難等・・・）今は落ち着いた状況にあり 洗面台に個別のタオル掛けを作り、使用して頂いています。</p> <p>今後も話しやすい雰囲気作りに努め皆さまからのご要望をどんどん実現させていきたいと思っております。</p>			
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りノート、毎日朝夕の申し送りで常時情報交換できるようにし、必要ですぐできる事は即実施。全体できめることであればミーティングの議題として検討しています。</p> <p>排便管理や、水分量の把握がしやすいよう個別の記録用紙を使ったり、表記の仕方もスタッフみんなが分かりやすい表示へ意見を取り入れ変わっていています。</p> <p>各フロアでの過ごし方もスタッフの意見や提案により 入居者様の状況に合わせてテーブルの配置や席を変えたり、時間や実施状況を変えて無理のない一日が過ごせるよう意見を出し合っています。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思います		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がけ業務の中で学び成長していけるよう配慮しています。就業しながらヘルパー2級取得、介護福祉士取得のバックアップ制度あり		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し、勉強会等に参加。横浜市の研修とうで同職種の交流や連携を図るようにしています。 同法人内の小規模多機能・グループホームとの交流、情報交換もあります		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症の ご利用者様なので ゆっくりとご本人のペースで 安心してお互いの信頼関係を築いていけるよう努めております。		
16		<b>初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居にあたり ご家族様が まだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられる事もあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺いその後サービスの開始にあたり必要な事、ご要望等をお伺いしとります。一度では伝わりにくい事もあるので、その後も、連絡を取り合い確認する事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるので 混乱されるご入居者様もおられます。まずは安心して居られる場所であることを 入居者様・ご家族様にご理解頂けるように努めております。その後個々のご入居者様・ご家族様の状況や、ご要望に合わせたサービスの提案、提供をしております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は 一緒にやって頂き 役割や 決定、選択をする事でその人らしく暮らせるようお手伝いさせて頂いております。 スタッフが洗濯物を干したり畳んだりしていると「やるよ」と手伝ってくださったり、入居者様から「なんかやる事あったらやるよ」と声をかけてくださることが多くあります。 スタッフの年齢層が広く 息子、嫁、娘 孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。歌や、昔の横浜や、磯子の様子をお話しして下さり 教わる事も多くあります。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間は特に決めておらず、いつでも来ていただいで一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等にもご参加頂けます。 ご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせて頂いていただくことで、ご家族と一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えています。 グループホームに入居された 入居者様がより		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者等には継続して行かれるようお手伝いしております。 お友達の面会や電話の取り次ぎも常時お受けしています。親しいご友人や 知人の方が来設されご本人のお部屋や リビング・食堂でお茶を飲みながら 談笑される場面もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活や、外出、レクリエーション、話題提供を通して、個人個人のお気持ちを考慮しながら よりよい関係性を築いていかれるようにしています。 今ある関係性に執着せず 新しい発見を大切にしていきたいと思います。			
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話や、お手紙で ご本人やご家族様の近況をお知らせくださることもあります。 入院したり、他施設に移られた入居者様に面会に行くこともあります。 季節のご挨拶等でも関係性を保っていきたいと思います。			
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	危険であったり、他入居者様の迷惑や不快にならないことであれば出来るだけ ご本人の思いに沿ってお手伝いさせて頂いております。 認知症があり 伝える事が難しい入居者様もおられるので その時の表情や、行動からもくみ取れるように配慮しています。			
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	認知症があり 正確にお伺いすることは難しい事もありますが、ご家族様からのお話や、日常のなかでの会話で馴染みのもの、好みのやり方等をうかがい、今までの暮らしに近い生活が継続できる様にお手伝いしています。			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、水分の摂取量、排泄状況、バイタル測定値、毎日のご様子を記録し、その日状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるように努めています。 役割や、レクリエーション、外出等もご本人のご希望、心身の状態に合わせ無理なく楽しみながら出来るよう配慮しています。			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活全体の介護計画はご家族様、介護スタッフ、訪問介護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し安心して快適に暮らしていられるような介護計画が作成出来るよう心がけています。 ご高齢で、認知症がある為 体調・精神状況等日々不安定なご様子もあり ケアの方向性が変わることも多くあるので 緊急時や細かいサービスの内容は 毎日の申し送り、申し送りノート、口頭等で常に確認し合い、ご家族様には電話等でご連絡させて頂いています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、変化等を個別の介護記録や業務日誌 申し送りノートに記録して情報を共有し、 毎日の申し送り時や、ミーティングで話し合いケアの方向性を決めてい、ます。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共同生活の中でありながらも、個人個人のその時のニーズに出来るだけ速やかに対応できるように努めております。 今年、当事業所では初めての看取り介護をさせて頂きました。 ご家族様の泊まり込んで入居者様と一緒に過ごしたいというご希望があり お受けいたしました。お別れのときは 息子様ご夫婦 お孫さまたちに見守られ、穏やかなご様子でした。 他入居者様もおられるので 少々不安もありましたが どなたも混乱することなく みんなでお見送りをさせて頂きました。今後も 皆さまが満足できる柔軟な対応を心がけていきたいと思ひます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>住み慣れた地域の中での生活が継続できるように地域の情報を把握し、ご本人が楽しめるようにしています。定期的な地域の催しは楽しみにされておりますので安全に参加できるようお手伝いしております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護に間に入っていただきながら、ご本人（ご家族様）がご希望されてるかかりつけ医と連携をとっています。</p> <p>定期受診の際 ご家族様から入居者様のご様子や伝えにくい時は ご様子や測定した数値を書面にしてお持ちいただいたり、受診に同行して直接 Drに入居者様の体調・ご様子をお伝えすることもあります。</p> <p>定期受診・緊急時の受診等 ご家族様のご都合がつかないときは グループホームで付き添いをさせていただく事もあります。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調に関して相談させていただいたり、ご家族様からの疑問や不安に思っている事なども相談させて頂き 医療面で個人個人に適切なケアが出来るようになってきています。</p> <p>受診時の医療機関の情報もアドバイスして下さりスムーズに受診できるようになりました。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただいたり、ご家族様とは密に連絡を取り、入居者様の状況を把握できるように努めております。必要であればご家族様ご了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人様、ご家族様共に安心して治療できるよう、また 退院に向けて適切に対応できるよう 準備につとめております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	入居の契約の際、重度化した場合や終末期には 双方で話し合い状況に適した対応をしていき たいとお伝えしてあります。ご本人、ご家族様 の望む事、事業所で出来る事をきちんとお互い に理解し合った上で医療機関、訪問看護と連携し 支援していきたいと思います。 入居者様のご様子、ご家族様の思いに沿って、 少しずつ 終末期をどこでどう迎えたいかのご 意向を伺い 同意書の作成をしています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	開設より3年が経過し 実践の中でも経験を積 む事が出来 混乱することなく 対応できる状 況になってきました。 今後もミーティングや 研修を通して (特に 新人スタッフに重点を置いて) 実践力を身に つけ、急変や、事故発生時に適切な対応がで きる体制作りをしてまいります。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築 いている	定期の避難訓練等や日頃から意識していく事を 心がけています。 今年も11月の運営推進会議では 近隣の方の ご協力をいただき 避難訓練を実施します。 非常用の飲用水・食糧の備蓄あり		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシー 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしてい る	日常生活において常に心がけています。 男性・女性が一緒にせいかつしていらっしやる ので プライバシーに関しては特に配慮してお ります		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	認知症がある為、自分の思いが上手く伝わらな かったり誤解をされてしまう事も多くあるので そのような事でお辛い思いをしたり 不信感に つながらないように十分配慮しながら お一人お 一人の想いに耳を傾けるよう努めております。 可能である方はご自分で お一人では難しい方 は お気持ちを考えながら自分で決定してい けるようお手伝いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間は概ね決めてありますが、参加や決定はご本人にお任せしています。無理強いをせず、楽しいんで参加して頂けるような声かけを心がけております。他入居者やスタッフとの交流を大切にしながらも、ご本人のペースで生活できるよう配慮しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをしています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。散髪、髪染め等もご希望があればお手伝いしています。起床時や入浴後髪の流れや、衣類等の食べこぼし（認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理のないよう）眼やに、耳垢、爪 髭剃り等も毎日の生活の中で配慮しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの物はお出しできませんが、食べたい物や、お好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。各フロア毎にメニュー決めて 買物や調理をみんなで楽しむこともあります。ADLの低下があり、刻み食・ミキサー食をお出しするようになりました。見た目や食感に配慮したり ミキサーに適さない食材は他の食材に変えて 形態が変わっても食事を楽しめるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個人個人のお食事量やお食事をされている様子を把握し、記録をもとに 少ない時には食事時以外にも捕食として好きな物をお出ししています。</p> <p>食事量・水分摂取量の少ない入居者様や体調不良時には 通常の記録の他に細かく量を記録するようにし、一日の摂取量を確保できるようにしています。</p> <p>必要と判断した時には医療と連携し、適切な対応が出来るようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後 お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。</p> <p>ご希望があれば、必要におおじて、訪問歯科受診のお手伝いもしております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様お一人お一人に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしております。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。</p> <p>男性に関しては どうしても立ってトイレを使用する事で毎回汚してしまう事がありますが、使用後は速やかに清掃し他入居者が困らないようにする事で 対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後等は ゆっくりトイレに入れるような環境作りに配慮しています。ご自分でいかれない方には声かけし、排便の機会を作る様にしています。 午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようになっています。便秘になりやすい入居者様には、毎日プルーンを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は医療機関に相談し、整腸剤や緩下剤を処方してもらう事もあります。排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人のお好みの湯加減に調節し お一人づつ入浴して頂いております。ご希望があった時は入浴日以外でも入浴して頂いております。 入居者様によっては 入浴に拒否がある方もおられますが、入ってしまうと皆さん「気持ちいい」「ありがとう」とのお言葉を頂いております拒否されたときは 無理強いせず、時間を置いて再度お誘いしたり、声をかけるスタッフをかえたりしています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので 休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休まれないご様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に確認できるよう、最新の薬情を薬箱の近くに設置しています。服薬時はスタッフ2人以上での確認を徹底しています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせた行事や 入居者様それぞれに伺いながら楽しめること、気分転換出来る事を計画しています。 入浴後や夕食時に お好きなビール（入居時はビールでしたが 体重の増加により現在はノンアルコールビールにさせていただいています）を楽しまれたり、毎朝新聞を取りに行くのを楽しみにされている入居者様もいらっしゃいます。			
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望されていても、普段は行かれないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為の職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。			
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を管理できる方はおられないので お小遣いは金庫預かりとさせていただき、スタッフが管理しています。 事業所の向かいにスーパーマーケットがあり、少量づつその時に欲しいものを買に行ったり、広告を見て特売の商品をみんなで買に行ったりと気軽に買い物を楽しめる環境にあります。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。年賀状・暑中見舞いは フロアーでのレクリエーションで作成し、ご家族様に送らせていただいています		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や季節の飾り、花を飾る等 入居者様と一緒に楽しみながらやっております。食堂・リビングのレイアウトも その時の状況に合わせて位置を変えて楽しんでます。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったのですが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや使い慣れた寝具、家具をお持ちいただきご自由にレイアウトして頂いております。テレビ、ラジオ、大切なお仏壇を置かれていらっしゃる方もおられます。 カーテンは当初は今までお使いの物をお持ちいただいておりましたが、消防署のご指導により防災の物に変えていただいております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で 歩いて移動していただけるよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。		



## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議の開催は2~3カ月に1度の開催が望ましいが現状は年3回の開催であり、うち1回は防災訓練を実施している。毎回、会議の最後に次回の日程を決めているが、皆様のご意見で4カ月後位に設定される。会議のメンバーも多忙な方が多く、毎回の出席は難しい。現状くらいの開催であると出席しやすいとのご意見もある。	運営推進会議の開催を増やし、事業所の運営状況報告など、積極的に情報収集したり、発信したり大切な事を話し合う機会を増やしていくようにする。	①次回の運営推進会議で今回の外部評価での評価結果・目標達成計画を報告し、会議メンバーの皆さまのご意見をうかがいながら開催を増やしていく。②年間計画を立て、開催回数、開催日を決めて開催していく。	12ヶ月
2		事業所外の協力を得ての防災・避難訓練の実施がなく、近隣と災害時の協力体制が出来ていない。	災害時、近隣からのご協力を頂けるよう、連携し地域の防災拠点としての役割が出来るようにしていく	町内会の消防団に消防訓練の協力の依頼をしてあります。近隣のスーパーの協力に関しては(営業時間中にお願することになるので)様子を見ながら伺いたいと思います。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。